

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日:令和5年12月28日

事業所名:SORATO(UMIE)いなみ※UMIEいなみ

サービス種類:放課後等デイサービス

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	十分な広さの教室に加えて、遊び場所としてのプレイルームも用意し、事業所2つ以上の活動スペースが確保できています。	は い→26人 どちらともいえない→0人 いいえ→0人 わからない→0人 未回収(期日までに解答なし)→2人	改善点、改修が必要な箇所はありません。経年劣化による不具合に関してはその都度対応行っています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	法が定める児童10名に対して職員2名という基準以上の職員配置で、管理者を除き、正規職員2名、非正規職員5名(週に2~4日勤務)が配置されています。	は い→23人 どちらともいえない→0 いいえ→0人 わからない→3人 未回収(期日までに解答なし)→2人	現状では、職員の増員は計画しておりません。しかし利用者状況によりその都度対応を行っています。専門性を高めるために内部・外部研修を行っています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい環境になっているか。また、障害の特性に応じ、設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切されているか	高齢者向け診療所を改装し、車いすが利用できる手すり付きのトイレ等、バリアフリーに対応できています。また個別学習用に、十分な学習机が用意され、個別療育室も確保しています。	は い→26人 どちらともいえない→0人 いいえ→0人 わからない→0人 未回収(期日までに解答なし)→2人	現状で対応できていると考えており、改修などの予定はありません。経年劣化による不具合に関してはその都度を対応行っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	経年に伴う修理箇所(雨漏り、トイレの水回り関係等)については、その都度対応し、学習と遊びが快適に行えるように努めています。	は い→25人 どちらともいえない→0人 いいえ→0人 わからない→1人 未回収(期日までに解答なし)→2人	教室は学びの場所、プレイルームは遊ぶ場所と、役割による使い分けを継続していきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	障害児通所施設支援システム「メイプル日誌Ⅲ」を導入し、業務改善、業務の効率化に努めています。		引き続き、ムダ・ムリ・ムラの軽減に取り組み、業務の効率化に努めたいと思います。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者評価は、まだ取り入れておりません。		現時点では、第三者評価制度の活用は考えておりません。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	朝会時に、職員が持ち回りで選んだ発達障害に関わる記事を紹介したり、毎月事業所内での研修に努めています。また外部研修への参加も定期的に行うようにしています。		現在の取り組みを継続していきます。
適切な支援の提供	1 子どもと保護者のニーズや課題がしっかりと分析された上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画が作成されているか	学習支援というニーズを念頭に置き作成に取り組みました。また最近では生活に必要な能力を学ぶことも重要視し支援を行っています。	は い→26人 どちらともいえない→0人 いいえ→0人 わからない→0人 未回収(期日までに解答なし)→2人	生活に必要な学びとは何かを考えた時に広い視野での支援方法を考えていきます。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	「できる」体験を増やすことで、学びの楽しさが見つけられること、自己肯定感を育むことを前提にして作成しています。	は い→25人 どちらともいえない→0人 いいえ→0人 わからない→1人 未回収(期日までに解答なし)→2人	個別支援及び集団療育の内容がマンネリにならないように、研修や書籍から、さらなるアイデアを得ていきたいと考えています。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	学習支援と、他児との交流を中心に作成しています。	は い→25人 どちらともいえない→0人 いいえ→0人 わからない→0人 未回収(期日までに解答なし)→2人	数概念の育み、ワーキングメモリー、ビジョントレーニングといった観点からも、児童毎の必要項目を設定できるようにしたいと考えます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供 (続き)	4 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	オンラインでのすらら学習、集団療育やソーシャルスキルトレーニング、プレイルームでの遊び、及び祝祭日の外出や提携している駄菓子屋さんにおやつの買い物ツアーなどを行っています。	は い→26人 どちらともいえない→0人 いいえ→0人 わからない→0人 未回収(期日までに解答なし)→2人	現在の取り組みを継続していきます。
	5 児童等発達支援の場合は保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか	現在そのような試みは行っておりません。	は い→3人 どちらともいえない→2人 いいえ→17人 わからない→4人 未回収(期日までに解答なし)→2人	そのような交流の場を作るのは保護者の意見もあり現実的には行えない状況です。そのような希望を聞くことが多くなれば実施に向けて各方面と調整していきます。
	6 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	ミーティングで実施しています。		現在の取り組みを継続していきます。
	7 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	自宅送迎後の帰着時間がまちまちなので、帰着順に、管理者へ情報の共有を実施、必要に応じて、翌朝のミーティングで取り上げています。		現在の取り組みを継続していきます。
	9 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	障害児通所施設支援システム「メイブル日誌Ⅲ」を使い、毎日、必要な入力項目への記録に努めています。		現在の取り組みを継続していきます。
10 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年ごとに行っています。		現在の取り組みを継続していきます。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	相談支援事業所の都合に合わせて、UMIEの教室を会場として提供したり、電話による情報共有に努めました。		コロナ制限もなくなり、問題な事案が発生次第担当者会議には参加の呼びかけをしていきます。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	同じ事業所内の児童発達の事業所からの移行はスムーズに情報交換行っています。また他の情報源としては相談支援員さんよりになっているのが現状です。		放課後デイとしての幼稚園等の就学前施設との接点がないのは事実ですが、就学後には送迎時に先生との接点は持てるようにしております。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	過去1年で該当者はいませんでした。		該当者がいれば、対応できるようにしていきたいと思います。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	特に連携を必要とする事例はありませんでした。専門機関による研修への参加は、送迎職員確保上の理由で実施できていません。		送迎職員の確保が最優先されるため、対面での受講は困難であり、オンライン受講の機会があれば受講を検討したいと思います。
	7 児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現時点では、事業所外での対外的な交流はございません。		依然としてコロナ含め感染症が継続する中、現在はこうした機会提供の実現は困難と考えて、現状通りとします。また保護者自身が障害者支援事業所に通われている事を知られたくない思いが強い方もおられます。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	周囲を工場や店舗に囲まれ、近隣には一般家庭が無いので、地域住民の招待を想定した企画を実施しておりません。		現状を考えると、地域住民の招待を想定した企画の実現は難しいと思われるので、現状通りとします。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約に際しては、重要事項説明書をもとに、時間をかけて十分な説明を行っています。	は い→22人 どちらともいえない→1人 いいえ→0人 わからない→1人 未回収(期日までに解答なし)→2人	現在の取り組みを継続していきます。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながら、支援内容の説明がなされたか	実施しています。	は い→24人 どちらともいえない→1人 いいえ→0人 わからない→1人 未回収(期日までに解答なし)→2人	現在の取り組みを継続していきます。
	3 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	管理者はペアレントトレーニングの入門研修の受講に加えて、書籍による学習を続けており、必要に応じて、助言を行える体制を取っております。	は い→15人 どちらともいえない→3人 いいえ→2人 わからない→6人 未回収(期日までに解答なし)→2人	応用行動分析、ペアレントトレーニングについての研修を受講し、保護者からの要望に適切に応えられるようにしていきたいと思っております。
	4 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	障害児通所施設支援システム「メイブル日誌Ⅲ」の連絡ノート機能を用いた情報交換と、送迎時には対面でのご説明を行っています。	は い→24人 どちらともいえない→2人 いいえ→0人 わからない→0人 未回収(期日までに解答なし)→2人	現在の取り組みを継続していきます。また個別でLINEでつないでもらい、気軽に素早く連絡体制が取れるように構築中です。帰宅時にも当日の様子を伝えるようにしていきます。
	5 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	送迎時における対面時など、保護者からの要望に対応できる体制はできています。	は い→5人 どちらともいえない→4人 いいえ→15人 わからない→2人 未回収(期日までに解答なし)→2人	現在の取り組みを継続していきます。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	現時点では、保護者会は開催しておりません。	は い→2人 どちらともいえない→2人 いいえ→20人 わからない→2人 未回収(期日までに解答なし)→2人	保護者のニーズが多いようであれば、開催を検討したいと思います。しかし共働き世帯が多い中で決められた日程での開催は難しい面もあります。
	7 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	苦情受付体制が整備されており、管理者がその窓口となっております。ご要望については、対応者からの伝達により、速やかに対応するように努めております。	は い→21人 どちらともいえない→1人 いいえ→0人 わからない→4人 未回収(期日までに解答なし)→2人	現在の取り組みを継続していきます。
	8 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	スマホを用いた連絡ノートでのやり取りを始め、メール、電話など、保護者にとって利便性の高い方法で情報共有できるようにしております。	は い→25人 どちらともいえない→0人 いいえ→0人 わからない→1人 未回収(期日までに解答なし)→2人	現在の取り組みを継続していきます。また個別でLINEでつないでもらい、気軽に素早く連絡体制が取れるように構築中です。
	9 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定などについて、子どもや保護者に対して発信しているか	現時点では、会報等の発行は行っておりません。	は い→12人 どちらともいえない→4人 いいえ→5人 わからない→5人 未回収(期日までに解答なし)→2人	現在Instagramで、プライバシーに配慮した形での情報発信を行っています。今年度より祝祭日の外出行事を行っているため最低でも半月前に保護者に案内メールを行っています。
	10 個人情報の取扱いに十分注意されているか	個人情報は、契約時に説明した通りに取り扱っております。	は い→26人 どちらともいえない→0人 いいえ→0人 わからない→0人 未回収(期日までに解答なし)→2人	現在の取り組みを継続していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	各種マニュアル類の整備については、従来より法人で準備された物があり、契約時にその旨説明を行っています。	は い→23人    どちらともいえない→1人 いいえ→0人    わからない→2人 未回収(期日までに解答なし)→2人	現在の取り組みを継続していきます。
	2 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	運営法人が異なる敷地内の他事業所も含め、消防署アドバイスの下で実施しました。	は い→22人    どちらともいえない→2人 いいえ→0人    わからない→2人 未回収(期日までに解答なし)→2人	現在の取り組みを継続していきます。インスタで訓練の様子も発信しています。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	ミーティングで実施しています。また外部研修に定期的に参加しています。		現在の取り組みを継続していきます。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体的拘束の必要性に迫られる場面はなく、そうした対応が必要な利用児童はいません。個別療育室や廊下での声掛けを中心としたマンツーマン対応を行っています。		現在の取り組みを継続していきます。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時に、各種アレルギーの有無を確認させて頂いております。		現在の取り組みを継続していきます。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットについては、障害児通所施設支援システム「メイプル日誌Ⅲ」内に、電子的に記録しています。		現在の取り組みを継続していきます。
満足度	1 子どもは通所を楽しみにしているか		は い→20人    どちらともいえない→6人 いいえ→0人    わからない→0人 未回収(期日までに解答なし)→2人	
	2 事業所の支援に満足しているか		は い→24人    どちらともいえない→2人 いいえ→0人    わからない→0人 未回収(期日までに解答なし)→2人	